



平成29年9月23日 秋の茶会にお手伝い頂いた方岡田 悦子さん、谷山高子さん、杉浦恭代さん芳賀奈緒子さん、大木徳子さん、杉本恵子さん

救済

「救済」とは、苦しみを取り除き、安心を与え、すくいとることです。

仏教では、仏様が私達衆生を救済してくれます。

浄土宗の教えでは、救済してくれるのは阿弥陀仏、阿弥陀様です。

私達がお称えする「南無阿弥陀仏」の意味は、「どうか阿弥陀様、私を苦しみの世界から救って下さい、助けて下さい」ということです。

そして、自分ひとりだけでなく、父母兄弟有縁無縁すべての人が救われますように祈る心で「南無阿弥陀仏」とお称えして救済を願うのです。

帰敬式

新たに仏教の信者になる儀式を帰敬式ききょうしきといいます。

結婚などで新たに家族になられた方に、普仙寺の檀信徒として、本尊様にお参りして頂きたいと思い、御案内したところ、猪狩利男さん、西島知代さん、西島徹君、西島小夏ちゃん、岡田政康さんの参加を頂きました。



平成29年9月23日帰敬式 住職のお話を聴聞される参加者

帰敬証授与

去る9月23日に行われました帰敬式では、住職より、普仙寺の歴史、普仙寺の本堂内の仏様、焼香の仕方、数珠の持ち方、念仏の称え方のお話があり、最後に帰敬証が参加者に授与されました。



平成29年9月23日帰敬式 住職と帰敬式参加者の記念写真

住職の短歌

平成28年に詠んだ短歌の続き([前回](#)は平成29年7月号)を掲載します。

藪蘭の紫小花咲いていた僕は屈んで君に挨拶

花瓶には開き始めの藤袴淡い紫優しい色だ

十月は金木犀の花だより甘い香りが嬉しさ誘う

フランソワ四十年も前のこと恩師についてコーヒーを飲む

聖光寺二祖の御影はその胸に選択集を捧持しており

久美浜の本願寺にて雨除けの名号石を皆で参拝

鉄幹と昌子の歌碑に立ち止まる天橋立松の木の下

与謝蕪村句碑を目指してまた歩く十月朝の天橋立

河原町バスより降りて浄華院学寮生徒我等迎える
御詠歌と和讃金戒光明寺唱え終わりにて手印頂く
夏詠歌和讃唱えた知恩寺で百万遍の念珠繰りする
知恩院弥陀本願の御詠歌と和讃唱えて満願となる
滋賀教区五十四回大会に出席をして詠歌斉唱
招かれた母校佛教大学の礼拝堂は開眼の式
今日京都華頂大学聖日に我は音楽法要導師
知恩院基金佛教大学の奨学生に挨拶をする
芒穂と泡立草が見えている伊吹の山も秋の暮れ色
和歌山の田辺の町を訪ね来て近畿詠唱大会に出る
御堂には京都文教中学と高校生の念仏の声
華頂女子高校生の授戒会に三十礼の礼拝をする
蕾から開花するまで見ていたよ毎日通る道の石踏
秋の陽に公孫樹の黄色光ってる君と歩いた川端通り
浄土宗教師研修講義にて受講者ともに宗歌唱える
雨上がり十一月の朝の道七色光る虹を見ていた
女子校の校門横に咲いていた黄色小花のマリーゴールド
晩秋の焼津の宿に集まりて詠唱教司研修をする
山茶花の白い花びら光ってる冬の初めの京都のお寺
千両の赤と黄色の実が綺麗石垣の下僕は見てるよ

錦木の色鮮やかな紅葉に心誘われシャッターを押す

秋の茶会

9月23日、秋彼岸法要の日に檀信徒会館にて秋の茶会を開催しました。華頂婦人会の役員の方が、お運び、お手前をして頂きました。ありがとうございました。



平成29年9月23日秋の茶会で、抹茶を飲まれている檀信徒の皆さん

寺行事案内

土曜礼拝 どうらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

- 前編第5章 選択本願
- 前編第6章 五劫思惟
- 前編第7章 諸仏証誠
- 前編第8章 万機普益

月並法要つきなみほうよう

平成29年11月8日(水)午後7時より

月に一度、檀信徒の皆様でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。
法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向もいたします。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 一枚起請文拝読
3. 詠唱奉納
4. 住職の法話